

## 「2026年を迎えて」

牧野 直子

### 30 年前を振り返って

2026 年がスタートしました。1995年の阪神淡路大震災の翌年、私は箕面市議会に送り出していただきました。当時の箕面市議会は各地元の代表の中年男性方で占められていました。私は地域で市民活動を続けてきた経験を活かし、議会で数少ない女性の視点で様々な提案をしました。

しかし、何と今や箕面市議会では半数が女性です。議会もオンラインで傍聴でき、30年の年月にはやはり重みを感じます。

### 災害のリスクに備えて

このところ自然災害が多発しています。昨年暮れには青森で地震、そしてあちこちで山火事が多発しています。大分ではかなりの面積が焼失、私達の地元の箕面の滝道でも火事がありました。箕面の山に燃えひろがらなかったのは不幸中の幸いです。

しかし地球温暖化の影響は今後ますます大きくなっていくことでしょう。1997年の地球温暖化防止京都会議（COP3）で警鐘をならしていました。ついにその時を迎えているのです。

### これからのコミュニティに必要なものは？

私はずっと以前、結通信の巻頭文で「これからのコミュニティの三種の神器」として、コミュニティセンター・コミュニティバス・コミュニティ放送をあげています。

#### (1) コミュニティーセンター

私は今、地元の北小コミセンで毎週有志でヨガをやっています。また、中小コミセンでは「チェアビクス」というイスやマットを使った体操をしています。どちらも25年以上続けています。それが自分の健康維持に役立っていると思います。

#### (2) コミュニティーバス

市内の移動に「オレンジゆずるバス」はホントにありがたいです。できれば1時間に2本あればもっとありがたいです。



そして車内では譲り合いの精神が行き渡っています。

#### (3) コミュニティー放送

阪神淡路大震災の年に開局したコミュニティ放送「タッキー 816」は30周年を迎えました。



タッキー専用ラジオ

箕面市は以前タッキー専用ラジオを高齢者世帯に配ったこともありましたが、地域の災害情報をキャッチする習慣がなければ役に立ちません。

また「タッキー 816」を通して地域住民の交流を深めることもできるはずです。

「あるものは活かそう！」です。箕面にあるこのコミュニティの3種の神器をもっと活用しましょう。

とは言え、加速する少子高齢化の中で体力、知力が年々低下していることを実感しています。「結みのお」も会員の方々と共に変わっていかなければならない時期に来ていると思っています。

総会案内には今後の「結みのお」の方向性を提案していますので、ぜひご参加ください。一緒に話し合いましょう。

### 第18回 ともに歩む『結みのお』総会

日 時：2月28日（土）13：30～15：30

場 所：中小コミセン四季彩の家 大会議室

受 付：13：00～

第1部 総会：13：30～14：30

第2部 カフェ＆座談会：14：45～15：30

